群マネモデル地域の実施方針

※R7.5.30時点（調整状況等を踏まえて随時更新）

①広域連携（垂直連携）

- 和歌山県（他1市3町） ･･･P2 【R7.5.30時点】
- 広島県（他2町） ･･･P3 【R7.5.30時点】

②広域連携（水平連携）

- 北海道幕別町（他1町） ･･･P4 【R7.5.30時点】
- 大阪府貝塚市（他7市4町） ･･･P5 【R7.5.30時点】
- 兵庫県養父市（他2市2町） ･･･P6 【R7.5.30時点】
- 奈良県宇陀市（他3村） ･･･P7 【R7.5.30時点】
- 島根県益田市（他2町） ･･･P8 【R7.5.30時点】

③多分野連携

- 秋田県大館市 ･･･P9 【R7.5.30時点】
- 滋賀県草津市 ･･･P10 【R7.5.30時点】
- 広島県三原市 ･･･P11 【R7.5.30時点】
- 山口県下関市 ･･･P12 【R7.5.30時点】

群マネの実施方針（和歌山県、橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「和歌山県（伊都地域）における橋梁の集約・再編に関する計画策定」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路			連携して計画策定	橋梁点検・設計・工事の一括化		
河川						
公園						
下水道						
その他						

■ R7年度（道路（橋梁）を対象に橋本市、かつらぎ町、九度山町、高野町で計画策定）
■ R8年度以降（上記、1市3町で包括的な業務発注について検討 ）
（県内各市町村で計画策定を検討（振興局単位） ）

＊上記の補足
＜橋梁の集約・再編計画＞
＊まずは、対象地域において、道路（橋梁）を対象にした計画を策定
＊県内各市町村（振興局単位）で検討（将来検討）

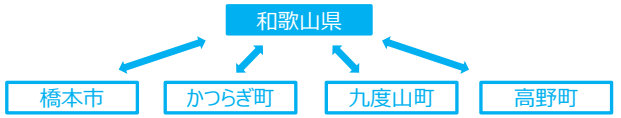
＜包括的な業務発注に向けた可能性の検討（将来検討）＞
＊メンテナンスコスト縮減及び業務量縮減手法について検討
（まずは、道路（橋梁）に関して検討）

②発注方式等

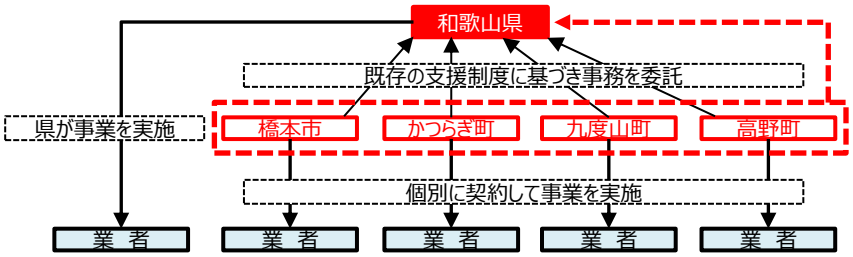
□ 契約期間の複数年化：有 ・ (無)
□ インセンティブの設計：有 ・ (無)
□ その他特筆事項（ ）

（2）自治体の束

＜橋梁の集約・再編計画＞
県による垂直連携により、共同で計画を策定



＜包括的な業務実施に向けた可能性の検討（将来検討）＞



□ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有 ・ (無)
□ 県技術センターとの連携：有 ・ (無)（※技術センターなし）

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒ ・インフラメンテナンス研修の実施（橋梁点検に関する机上研修・現場研修）
・インフラメンテナンス会議を活用し、群マネの取組事例の共有を予定

②データ連携の具体メニュー

⇒ ・各市町で導入しているインフラ管理システムについて情報共有
例）和歌山県：My City Report（道路異常等通報システム）
橋本市 ：LINEによる通報（道路・公園遊具・空き家等）

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（広島県、安芸太田町、北広島町）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「リソースの有効活用・効果的な人材育成に関する連携事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

＊道路施設全般を想定

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	①日常管理包括			②橋梁点検	②橋梁点検・設計・工事の包括化	
河川			※日常管理包括とは別発注			
公園						
下水道						
その他						

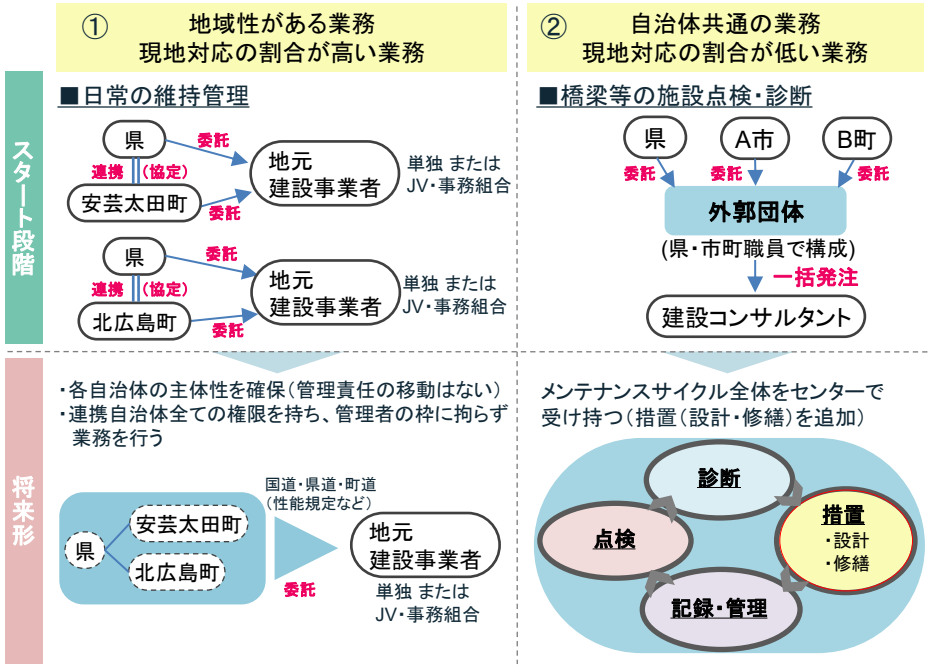
■ R8年度　①広島県、安芸太田町、北広島町　　②広島県、希望する市町
■ 将来　　②広島県、希望する市町

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：(有)（3年程度）・無　※段階的に拡大
- □ インセンティブの設計：(有)（性能規定、総価契約等）・無 ※将来の適用を想定
- □ その他特筆事項（ — ）

（2）自治体の束

- ✓ 業務の内容や特性に応じた束ね方（連携体制）を想定
- ✓ 各自治体の技術力の維持に寄与する連携体制を想定（水平補完）



- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用：(有) 無
- □ 県技術センターとの連携：(有) 無 ※外郭団体

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒外郭団体において、自治体職員・建設事業者向けの研修の実施や技術相談、有識者との連携（高度な技術が必要な案件等に対する支援）など、産官学の連携をリードする

②データ連携の具体メニュー

⇒システムの共同化、データ連携を進める

システム共同化イメージ（当面）：アセットマネジメントシステムなどの既存システムの共同化や、県で新規に導入するシステムの共同利用促進など

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（北海道幕別町、音更町）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「インフラ業務の包括化（橋梁、道路・公園、窓口業務）と周辺自治体等との連携事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	③窓口業務包括化		修繕計画	橋梁点検	実施設計	橋梁補修
	窓口	管理・除雪		損傷	①橋梁点検・設計・工事包括化	
河川		②多分野包括（幕別町）				
公園	窓口	管理		遊具点検等		
上下水道	窓口					
その他	窓口	公共施設除雪		遊具点検		

①橋梁点検、長寿命化計画、実施設計、補修工事の一括発注（幕別、音更）
※　道路メンテ補助、５年

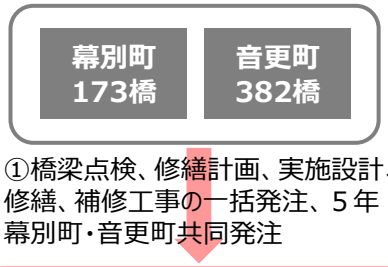
②道路、公園維持管理業務の包括的民間委託（幕別、幕別忠類）、３年
※　委託（巡回、草刈、除雪、清掃、砂利補充、剪定、舗装修繕）
　　工事（少額補修工事）
　　点検（損傷点検、舗装診断、街路樹診断、遊具点検、浄化槽点検等）

③窓口業務の包括化（幕別、音更）、３年
※　道路・除雪、公園、上下水道等の窓口一本化（サポートセンター）
　　道路の損傷状況、公園（遊具等）の損傷状況、除雪（公共施設含）

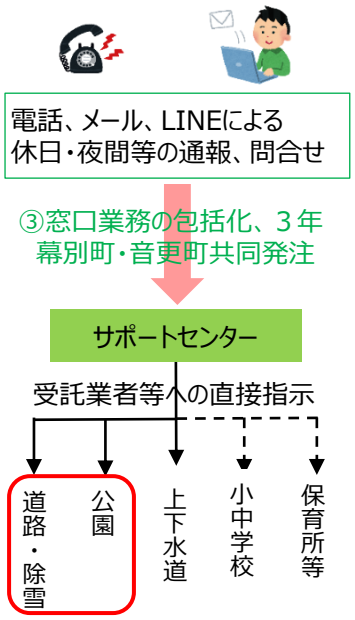
②発注方式等

- □　契約期間の複数年化　：　有（3年から5年の範囲内）
- □　インセンティブの設計　：　有（性能規定）
- □　その他特筆事項（　　）

（2）自治体の束



- □　地方自治法上の共同処理制度の適用　：　無
- □　県技術センターとの連携　：　無



（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒・意見交換会や研修会の開催、民間インフラ事業者との人事交流等の実施
　・道路損傷点検と整備優先順位計画の統一、工事書類の簡素化・統一化
　・技術職員のイメージアップと統一（オーダーメイド作業服等）

②データ連携の具体メニュー

⇒・道路台帳システムを活用した統合型ＧＩＳ構築
　・道路管理業務の一元管理（通報、巡回、修繕等の情報共有）
　・統一した除雪管理システム導入によるデータ連携
　・民間事業者のデータや新技術を活用した路面性状調査

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（大阪府岸和田市、泉大津市、貝塚市、泉佐野市、和泉市、高石市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町、大阪府）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「三大都市圏内でかつ核となる中心市が存在しない基礎自治体の広域連携」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	巡回業務・軽作業			路面状況調査 附属物点検		
河川						
公園	維持管理・修繕業務			遊具点検 遊具点検・修繕		
下水道	雨水対策の検討	事業場排水規制業務 排水設備登録事務	新技術活用検討			
その他						

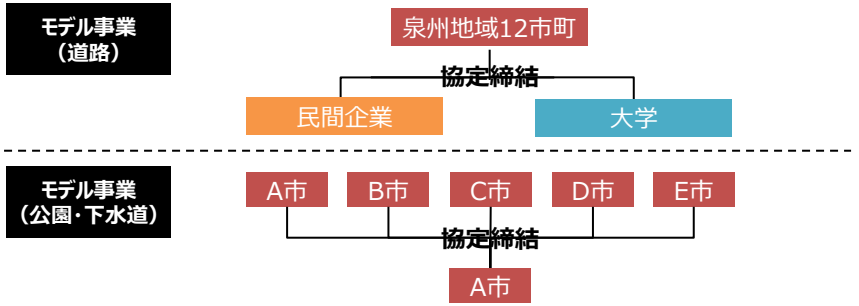
■ R7年度モデル事業の実装
道路：路面状況調査、公園：遊具点検、下水道：事業場排水規制業務

■ R8年度以降検討内容
道路：附属物点検、巡回・軽作業包括管理、
公園：維持管理・修繕業務、遊具点検・修繕
下水道：排水設備指定業者登録等事務、新技術を活用した施設健全度予測の検討、泉州地域の特性を踏まえた雨水対策の検討

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：R7無、R8以降検討中
- □ インセンティブの設計：有（性能規定、総価契約等）・無・（未定）
- □ その他特筆事項（　　）

（2）自治体の束



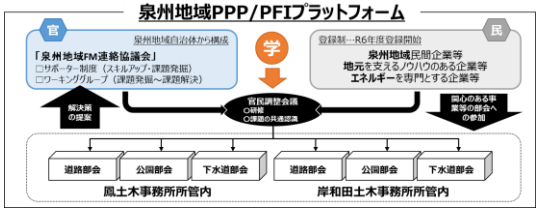
R８年度以降： 各分野の事業範囲ごとに、広域連携手法を検討予定
令和７年度の総務省委託事業にて発注者と受注者を束ねた発注事務等を補完する体制構築の検討結果を踏まえ、体制構築に向けて引き続き検討予定

- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・（無）
- □ 都道府県技術センターとの連携：（有）・無

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒群マネ参画自治体による官民連携に向けた会議・ワーキンググループ・民間事業者を講師に招いた勉強会を実施し、産官学そして金融を束ねた泉州地域PPP/PFIプラットフォームを立ち上げ、群マネ計画の策定・運用に向けた議論を行う。



②データ連携の具体メニュー

⇒大阪大学大学院工学研究科にて各市町との広域連携における合意形成手法の課題抽出・分析について実施。また、同大学大学院へインフラ維持管理データを提供及び分析の実施、そして群マネ参画市町と同大学大学院への連携体制を構築。

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（兵庫県養父市、朝来市、豊岡市、香美町、新温泉町）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「広域なエリアでの道路橋梁補修設計工事に関する水平連携事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路			兵庫県まちづくり技術センターより一括発注（橋梁点検等）		橋梁の補修設計・補修工事	
河川						
公園						
下水道						
その他						

■ R7年度（自治体間調整を実施）
■ R8年度（養父市、朝来市、香美町、新温泉町の4市町）
※ 一部市町に限定した先行発注を想定

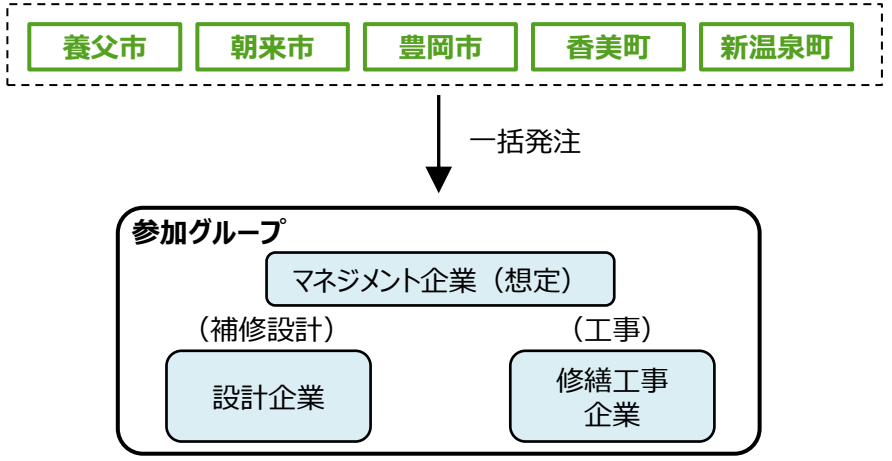
＊上記の補足
＜インフラ分野＞
・対象分野：道路（橋梁）
※ 将来的には道路維持補修や上下水道などの他分野にも展開していくことも想定

＜業務プロセス＞
・橋梁補修設計・橋梁補修工事の一括発注を想定
・場合によっては、発注者支援業務を発注することも検討

②発注方式等

□ 契約期間の複数年化：（有）（3～5年を想定）・無
□ インセンティブの設計：有（性能規定、総価契約等）・無（未定）
□ その他特筆事項（ ）

（2）自治体の束



□ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・（無）
□ 県技術センターとの連携（有）（点検・診断において実施済）・無

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒ 群マネの検討・実施を通じた但馬地域の道路橋梁実務担当者の意見交換を通じて連携を深める。
養父市においては、（一財）高専インフラメンテナンス人材育成推進機構への入会、舞鶴工業高等専門学校との社会インフラ維持管理連携協力に関する協定締結、それに基づく橋梁復旧工事の設計支援などを実施しており、引き続き連携を図る。

②データ連携の具体メニュー

⇒ 郡マネ対象橋梁の橋梁点検結果の但馬地域3市2町での共有を検討

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（奈良県宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村、奈良県）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「橋梁メンテナンスの効率化、技術の補完を目指した地域連携による包括的民間委託」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路			■	■	■	■
河川						
公園						
下水道						
その他						

橋梁の一連管理
（事業の発注事務を含む）

■ R7年度（宇陀市、曽爾村、御杖村の3市村）
■ R8年度（宇陀市、曽爾村、御杖村、東吉野村の4市村）

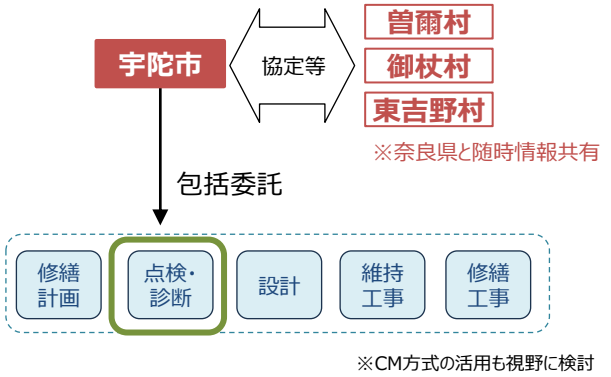
＊上記の補足

＜インフラ分野＞　道路　：　橋梁
・R7年度は小規模連携を行い試行をする。
・R8年度以降は使用感を確かめた後に更なる連携の幅を広くしていく。
・修繕工事の組入れを検討するにあたり、地元建設業の技術力維持に配慮。
・1市3村による点検・診断、設計、工事を含めた包括業務の共同発注の可能性を検討（CM方式の活用も視野に想定）。

②発注方式等

□ 契約期間の複数年化：（有）（目標5年）・無
□ インセンティブの設計：有 ・（無）
□ その他特筆事項（　地元建設会社の技術の向上　）

（2）自治体の束



□ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・（無）※必要に応じ適用の可能性あり
□ 県技術センターとの連携：有 ・（無）

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒宇陀・東吉野土木協議会の場を活用して、奈良県を含め、意見交換会や研修を実施する。
定例的な報告調整を含む勉強会を実施する。
連携による人の交流を通じて、身近な相談先など関係を醸成する。

②データ連携の具体メニュー

⇒データの連携・一元管理（DX）を活用することで、様々な事例等、データを蓄積・応用することが出来る。

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（島根県益田市、津和野町、吉賀町）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「戦略的インフラマネジメント「広域的・複数・多分野横断・包括的民間委託」に関する水平連携事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路				橋梁点検	橋梁設計	
河川						
公園						
下水道						
その他				農林道点検	農林道設計	

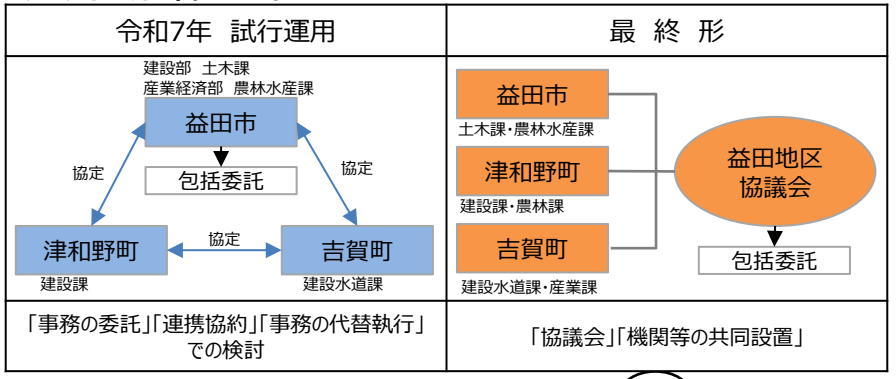
■ R7年度（益田市、津和野町、吉賀町の1市2町）
■ R8年度（益田市、津和野町、吉賀町の1市2町）

＊上記の補足
＜インフラ分野＞
＊道路：橋梁、トンネル（トンネルはR5に点検を実施）
＊その他分野：市道・町道・農道・林道
＜業務プロセス＞
＊アセットマネジメント（長寿命化修繕計画・個別施設計画更新）
橋梁点検、トンネル点検、橋梁修繕設計、トンネル修繕設計

②発注方式等

☐ 契約期間の複数年化：有（5年）・(無)
☐ インセンティブの設計：有（性能規定、総価契約等）・(無)
☐ その他特筆事項（　令和7年度は単年、仕様規定を想定　）

（2）自治体の束



☐ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・無・(未定)
☐ 県技術センターとの連携：有 (無)（将来的には有　垂直連携時に検討）
今後、益田市内部にて、「アセットマネジメント検討委員会（仮）」「群マネ推進WG（仮）」等を設立し、展開していく。
また、現状にて具体的に検討していないが、益田地域である程度の成果があれば、島根県として水平連携・垂直連携を視野に入れるとのこと。その際には、島根県建設技術センターにも参加を依頼するとのこと。

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒ 益田地区群マネ担当者会議（不定期開催）
益田地区インフラ群再生戦略マネジメント推進会議にてセミナーを開始

②データ連携の具体メニュー

⇒ 現在、道路台帳の電子化について、3市町で同一システムの導入検討をしている。その際には、林業所管課（森林資源データ）との連携を含めて検討している。
また、益田市では、検討しているシステムとAPI連携できるシステムにて市民要望「ますナビ」を既に導入している。（R5　デジ田）

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（秋田県大館市）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「包括的民間委託（道路・河川ほか）における現状の取組み」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	多分野包括（道路・河川・公園）					
河川						
公園						
下水道	（雨水幹線・都市下水路）					
その他	（農林道・法定外施設）					

■ R7年度（大館南地域、大館西地域）
■ R8年度（大館南地域、大館西地域、大館東地域（仮））

＊上記の補足
＜インフラ分野＞
＊R8年度以降も包括範囲を順次拡大（大館市全域）
＊道路：橋梁は除く
＊下水道：公共下水道雨水幹線（水路）、都市下水路（水路）
＊その他分野：農道（舗装）、林道（舗装）、法定外公共用財産（道路、水路）
＜業務プロセス＞
＊日常維持管理：巡回
＊その他業務：マネジメント業務

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：（有）（3年）・無
- □ インセンティブの設計：（有）（性能規定、総価契約）・無
- □ その他特筆事項（　公募型プロポーザル方式　）

（2）自治体の束

施設分類	管理部署	業務の内容		R7～R9 西地域	R8～R10 東地域
全般		マネジメント		◎	◎
		窓口業務			
		巡回		◎	◎
道路	土木課	補修	舗装：穴埋め、道路構造物、側溝、カーブミラー	◎	◎
			道路案内板、道路照明		
		清掃	路面、側溝浚渫、各種施設	◎	◎
		路肩草刈		◎	◎
		街路樹剪定・防除		◎	◎
		雑木枝切り・伐採		◎	◎
河川	土木課	雑木枝切り・伐採		◎	◎
公園	都市計画課	補修	遊具など		
		剪定・防除	各公園の樹木、桜など	◎	◎
下水路	都市計画課 下水道課	清掃	雨水幹線、都市下水路の浚渫		◎
農林道	農政課 林政課	補修	舗装：穴埋め（生活道路のみ）	◎	◎
		雑木枝切り・伐採、路肩草刈（生活道路のみ）		◎	◎
法定外	土木課	補修	道路：砕石敷均し 水路：修繕	◎	◎

- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用（有）・無（広域下水道処理場）
- □ 県技術センターとの連携（有）・無

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒月例工程会議で、工法提案や意見交換を重ね、対策の最適化へ注力
⇒JVを構成する企業の強みを最大限引出し、不足時は協力企業が支援

②データ連携の具体メニュー

⇒市のデータ管理システムを部署間で連携・強化し、事務作業を効率化
⇒関係者がスケジュール管理ソフトを共用し、工程管理と品質管理を強化

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（滋賀県草津市）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「同種プロセスの多分野連携による業務効率化の事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

■ 短期：R9～R11
■ 長期：R12～14

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	多分野包括					
河川						
公園						
下水道						
その他						

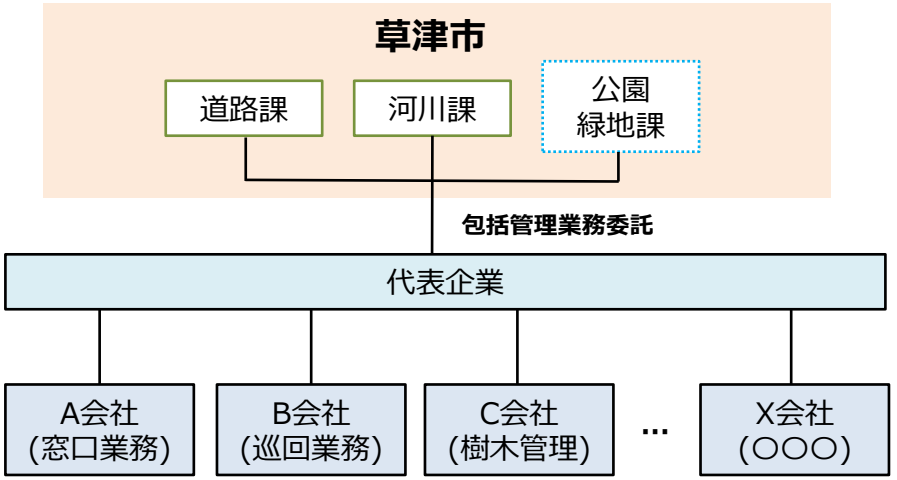
上記の補足
（対象分野）道　路：街路樹、草刈、道路附属物、簡易舗装
　　河　川：下水道（雨水）、準用河川、法定外水路、調整池
　　公　園：児童遊園、一部都市公園

＜インフラ分野＞
＊短期 R9～R11 （道路・河川）：街路樹・草刈・簡易舗装
＊長期 R12～R14 （公園）：剪定・草刈・（遊具点検を含めるかを要検討）
※現在、橋梁点検は滋賀県建設技術センターへ一括発注を実施しているため、対象外を想定。
※公園については、現在の指定管理者との契約更新の際に検討予定。
※上下水道については、広域化やウォーターPPPなどが主流になっていくことや交付金要求の条件等から、群マネの対象外と想定。
＜業務プロセス＞
＊日常維持管理：巡回、窓口対応（苦情、要望、電話）、定形管理作業（草刈等）

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：(有)（3年）・無、ただし、検討結果による
- □ インセンティブの設計：(有)（性能規定、総価契約等）・無
- □ その他特筆事項（　　）

（2）自治体の束



- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・(無)
- □ 県技術センターとの連携：有・(無)

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

⇒道路課・河川課の各分野担当職員の間で連携を強めることで、業務指示および管理の情報共有・ノウハウの向上を図る。

②データ連携の具体メニュー

⇒現状では、各分野ごとに独自のシステム等を運用しているが、分野横断が可能な、事業者が考案する民間のシステムの活用を検討。

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（広島県三原市）

［群マネモデル地域としてのポイント］

「道路・河川・公園の業務プロセス複合化・効率化に関するDX多分野包括事例」

［実施内容］

（1）業務のマネジメント戦略

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	多分野包括（道路・河川・公園）			橋梁		舗装工事
河川						
公園				維持管理ＤＸ		
下水道						
その他	（広場）					

■ R8年度以降　多分野包括・維持管理DXの導入

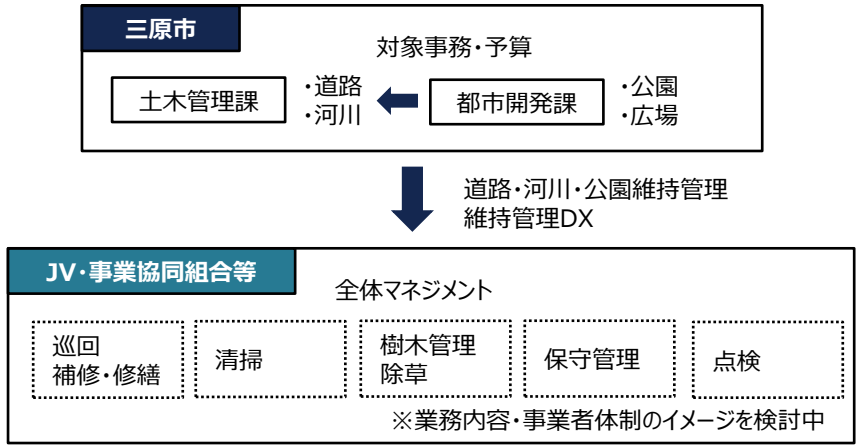
＜インフラ分野＞
＊道路、河川、公園、広場
＜業務プロセス＞
＊工事：計画的な工事をあらかじめ業務に組み込む（効果・実現性を踏まえ検証）
＊日常的対応：コールセンター、巡回、清掃、植栽、簡易補修、付帯設備、災害初動、事故初動
＊維持管理DX：維持管理現場の生産性向上を図るため、新技術導入による維持管理の効率化を図る

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：（有）（3年程度）・無
- □ インセンティブの設計：（有）（性能規定、修繕工事等）・無
- □ その他特筆事項（　　）

（2）自治体の束

多分野包括（庁内関係部署間の連携）



- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用：有・（無）
- □ 県技術センターとの連携：有・（無）

（3）技術者連携、データ連携

①技術者連携の具体メニュー

＊民間事業者を招いた包括業務や新技術に係る意見交換会を開催し、市内の官民技術者の技術力向上を図る。
＊先進自治体への視察を実施し、他市技術者のノウハウを習得する。

②データ連携の具体メニュー

＊発注者・受注者間で、道路・河川・公園の維持管理情報の共有が図れるよう、一元化されたシステムを活用予定。
＊維持管理情報の蓄積・見える化・分析を行い、情報の利活用を図る。

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります

群マネの実施方針（山口県下関市）

［群マネモデル地域としてのポイント］

道路（鉄道跨線橋管理の包括化を含む）を中心とした多分野連携事例

［実施内容］

（1）「業務」の群を束ねる

①対象範囲（インフラ分野×業務プロセス）

分野	日常的対応		計画的対応			
	直営	委託・工事	計画	点検	設計	工事
道路	多分野包括（道路・河川）			跨線橋 点検・設計・工事		
河川						
公園						
下水道	（臨港道路）					
その他						

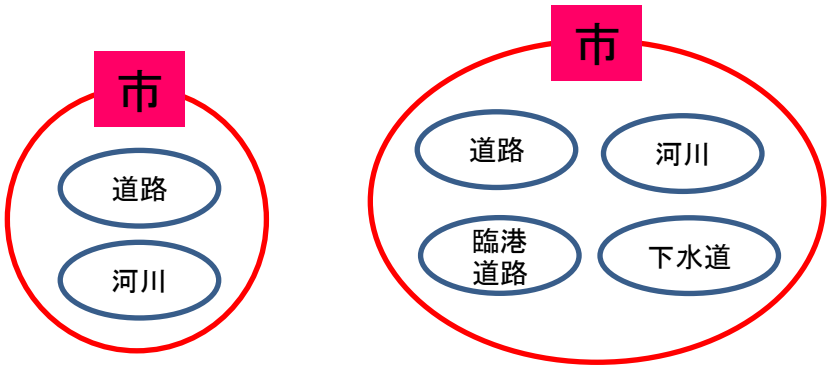
■ R10年度（道路における橋梁はJR跨線橋のみ対象とする。）
■ R13年度（多分野連携）

＊上記の補足
＜インフラ分野＞
＊道路：道路、橋梁（JR跨線橋含む）
＊その他分野：臨港道路、下水道
＜業務プロセス＞
＊日常維持管理：巡回、苦情対応、補修
＊更新・修繕・設計：JR跨線橋のみを対象

②発注方式等

- □ 契約期間の複数年化：有（3年）
- □ インセンティブの設計：有（性能規定、総価契約等）
- □ その他特筆事項（なし）

（2）「発注者」の群を束ねる



【 R10試行型 】　【 最終型（R13） 】

※ 下水道は、別途ウォーターPPP導入を調整中であり、今後、連携可否を検討する。
※ 国・県との広域連携は、必要性を含め、今後、検討する。

- □ 地方自治法上の共同処理制度の適用：無
- □ 県技術センターとの連携：無

（3）「技術力」の群を束ねる

①技術者連携の具体メニュー

⇒ 庁内関係部署と定期的な協議・調整の場をつくるよう計画していく。

②データ連携の具体メニュー

⇒ 道路・河川などの部署間連携が可能となるよう、苦情処理について、コールセンターなどの民間委託システムの活用を検討する。

R7.5.30時点の検討内容であり、今後の調整により変更となる可能性があります